

ヘルニア



子ども達に「**勇氣**、**夢**として**笑顔**」を

ヘルニアとは

いわゆる脱腸と言われる病気です



男の子の場合、生まれる前にはおなかの中にあつた睾丸が腹膜とともに下りてきて、陰のうの中に納まります。

しかし、この通り道が閉じずに残っていて、泣いたり、きばったりした時に、腸が下がってくる病気をヘルニアと言います。



女の子の場合、腸が下がってくるだけでなく、3割ぐらいは卵巣がおりてくることがあります。



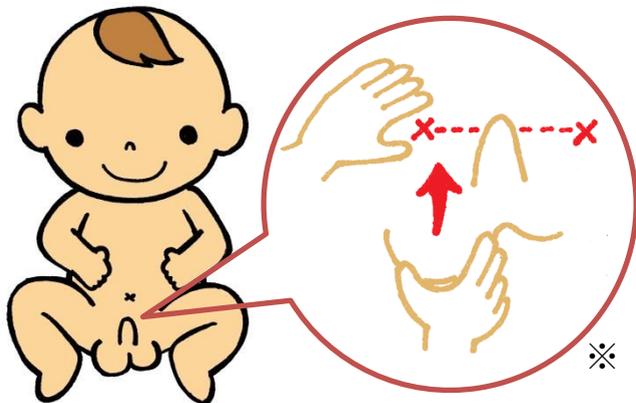
ヘルニアの納め方

出来るだけ抱っこしたり、機嫌をとったりして泣き止ませてください。



そして、はれている部分に手をあて、ゆっくり頭側に向けて圧迫してください※。

男の子の
右ヘルニアの場合



ヘルニア嵌頓

ヘルニアは泣いている時や運動している時に脱出しても泣き止んで安静にするとたいてい自然にあるいは軽く押さえるだけで納まります。
WANPUG

しかし、なかなか元に戻らず腸が脱出したままの状態にしておくと、嘔吐・腹痛・不機嫌・局所の緊満・発赤などの症状が見られるようになります。これを**ヘルニア嵌頓**と言います。

この状態を放っておくと、閉塞を起こし腸が腐り腹膜炎になりますので、緊急に処置する必要があります。

このような症状が見られたら**すぐ病院に連絡**してください。

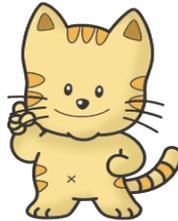


治療について

ヘルニア嵌頓を起こす危険性があるので
診断がつけば手術をお勧めしています。



WANPUG



地方独立行政法人 大阪府立病院機構
大阪母子医療センター

<小児外科>

〒594-1101 大阪府和泉市室堂町 840

患者支援センター TEL 0725-56-1220

FAX 0725-56-5605

2022.8 更新